

学 校 管 理

第1節 学校教職員定数

1 学校の概況

公立小中学校における学校は道路の改善によって通学が容易になったことと、適正規模の学校にし教育効果の向上を図るために学校統合が推進された。このため34年より5年間に小学校においては35校の減、中学校においては50校の減となった。小学校が39年度本校6校の増は標準法改正に伴い分校が6学級以上となり本校に昇格した学校があったためである。

学校の統合は年々進んではいるが、まだまだ小規模校が多い、特に小学校においては適正規模（12～18学級）未達の学校が全体の約70%もある。

小学校数

	34年	35年	36年	37年	38年	39年
本 校	557	560	563	565	566	572
分 校	307	299	288	283	274	257
計	864	859	851	848	840	829

中学校数

	34年	35年	36年	37年	38年	39年
本 校	365	363	349	341	332	328
分 校	26	18	15	15	13	13
計	391	381	364	356	345	341

3 小学校児童数・学級数の推移

小学校の児童数は昭和34年が最高で漸次減少している。しかし児童数の減少に比し、学級数の減少が少ないのは学級編制基準が年々改善されたためである。特に39年は標準法の改正に伴い学級数は増加した。

小学校児童数学級数の推移

		34年	35年	36年	37年	38年	39年
児童数	児童数	346,565	329,913	317,218	298,615	280,429	266,632
	児童指数	105.05	100.00	96.15	90.51	85.00	80.82
学級数	学級数	8,130	7,987	7,722	7,485	7,380	7,571
	学級指数	101.79	100.00	96.68	93.71	92.40	94.79

39年度における学級数別学校数（小学校）

	1～5学級	6～11学級	12～18学級	19～24学級	25学級以上	合計
本 校	14	299	164	45	50	572
分 校	252	5				257
計	266	304	164	45	50	829
構成比	32.1%	36.7%	19.8%	5.4%	6.0%	100.0

39年度における学級数別学校数（中学校）

	1～5学級	6～11学級	12～18学級	19～24学級	25学級以上	合計
本 校	46	143	76	33	30	328
分 校	13					13
計	59	143	76	33	30	341
構成比	17.3%	41.9%	22.3%	9.7%	8.8%	100.0

2 公立幼稚園の設置状況

公立幼稚園は年々新設され、35年より39年までに10園の増加をみた。一方幼児数は年々減少の傾向にあるが園児数は増加している。

公立幼稚園数及び園児数

	35年	36年	37年	38年	39年
園 数	37	40	42	43	47
園 児 数	4,003	4,154	4,312	4,370	4,888
園児指数	100.0	103.77	107.72	109.17	122.11